

2022年1月19日(水) 読売新聞 朝刊

議員定数を議論 改革検討会設置

神戸市議会

神戸市議会（定数69）は18日、来春の統一地方選に向け、議員定数のあり方などを議論する「制度改革検討会」（座長・坊恭壽市長）を設置した。

検討会は、正副議長と、5人以上が所属する6会派から各2人の計14人で構成。初回は、各会派が議員定数について意見を述べ、自民、公明両党は「他の政令市と同程度の議員定数が妥当」などとして、9人削減を提案。日本維新の会も4人減らす考えを示した。

一方、共産党は「市民の多様な意見を反映する必要がある」として、3人の増員を主張。つなぐは現状維持を訴え、立憲民主党は検討中とした。

次回の会合は2月16日で、意見の取りまとめに向け、議論を進める。